

報道関係者各位

株式会社東京ドーム

## 映画「ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館」公開記念 『お化け屋敷～<sup>こくい</sup>黒衣の女の呪い』が期間限定で登場！！

東京ドームシティ アトラクションズでは、2012年9月29日(土)～2013年1月14日(月・祝)の期間、「ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館」公開記念『お化け屋敷～<sup>こくい</sup>黒衣の女の呪い』をオープンします。

12月1日(土)公開の映画「ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館」の世界観を再現した館内へ、お客様にはある手紙を手に進んでいただきます。“黒衣の女”が潜む館内から無事に戻ることができるのでしょうか…

### 【開催概要】

- 名 称:「ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館」公開記念『お化け屋敷～<sup>こくい</sup>黒衣の女の呪い』
- 開催期間:2012年9月29日(土)～2013年1月14日(月・祝)
- 開催時間:10:00～21:00 ※季節・イベントにより異なる
- 場 所:東京ドームシティ アトラクションズ
- 料 金:600円  
※「ワンデーパスポート」、「ナイト割引パスポート」利用可
- 入場規定:3歳以上(5歳以下は要付き添い)



### ■設 定:

お客様は、入口で一通の手紙を手渡されます。

それは、黒衣を着た女の亡霊から届けられた手紙です。

その手紙には、ところどころに空白があり、不気味な雰囲気<sup>こくい</sup>がにじみ出ています。

お客様は館の中に入って、空白の中に入る言葉を探してこなくてはなりません。

館の中には、あちらこちらに黒衣の女の気配が漂っています。

また、女によって死に追いやられた者たちの亡霊も潜んでいます。

果たして、すべての空白を埋めて手紙を完成させ、この恐怖の館から抜け出すことはできるのでしょうか…

- お客様からのお問い合わせ先:東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

### 東京ドームシティ アトラクションズ

◎所 在 地:文京区後楽1-3-61

◎営業時間:10:00～21:00 ※季節・イベントにより異なる

◎料 金:入園無料

ワンデーパスポート(乗り放題):

大人3,800円 シニア・中人3,300円 小人2,000円 幼児1,200円

ナイト割引パスポート(17時以降乗り放題):大人2,800円 シニア・中人2,300円

アトラクション単券:400円～1,000円

◎U R L:<http://at-raku.com>

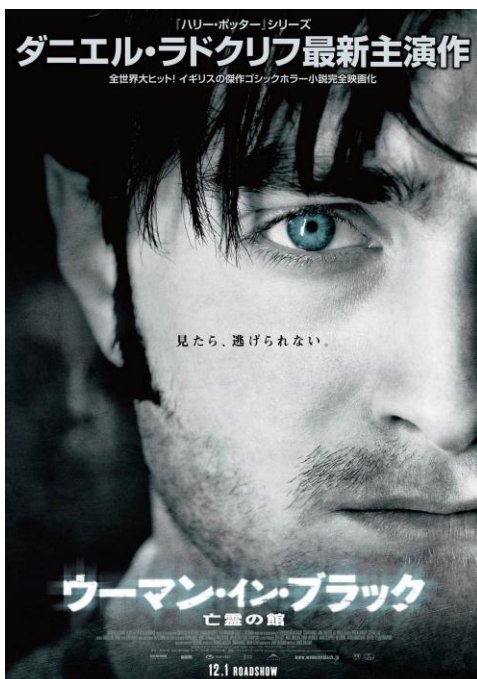
## ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館

『ハリー・ポッター』シリーズのダニエル・ラドクリフが  
新たなキャリアの出発点に選んだ戦慄の英国ゴシック・ホラー

『ハリー・ポッター』シリーズの主演を務め、若くして世界的なスーパーアイドルとなったダニエル・ラドクリフ。2011年の完結編『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2』で大役をやり遂げた彼が、その次に挑むべき作品として数ある企画の中から自ら選び取ったのが、このブリティッシュ・ゴシック・ホラー『ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館』である。

19世紀末のロンドンに暮らす若き弁護士アーサー・キップス(ダニエル・ラドクリフ)は、4年前に愛妻ステラを亡くして以来、失意のどん底に沈んでいた。そんなある日、事務所の所長から新たな仕事を命じられた彼は、ひとり息子ジョセフをロンドンに残し、田舎町クライシン・ギフォードへの出張に旅立つ。列車を乗り継いで現地に着いたアーサーに課せられたのは、最近他界したアリス・ドラブロウ夫人の“イールマーシュの館”に赴き、彼女の遺言書を見つけ出すこと。ところが沼沢地の島にぽつんとそびえ立つ館にはただならぬ陰鬱なムードが漂い、謎めいた“黒衣の女”が森や窓辺に出没する。やがてこの館の忌まわしい過去と、町の大勢の子供たちが相次いで変死している事実を探りあてたアーサーは、自らも恐るべき呪いの連鎖に巻き込まれていくのだった……。

原作は、現代イギリスの人気作家スーザン・ヒルの「黒衣の女 ある亡霊の物語」。1983年に出版されたこのベストセラー小説は、1982年にTVムービー化され、ラジオ・シリーズや舞台劇にもなった名作中の名作だ。そしてこのたび『吸血鬼ドラキュラ』(58)などの怪奇映画で一世を風靡し、『モールス』(10)で復活を果たした老舗のホラーレーベル、ハマーフィルムが、15年もの構想期間を経て執念の映画化を実現。世界中で1億2000万ドル以上の興収を叩き出し、ホラー&スリラーのジャンルにおいて近年最も成功を収めた話題作が12月1日遂に日本公開！



(c) 2011, SQUID DISTRIBUTION LLC, THE BRITISH FILM INSTITUTE

■映画に関するお問い合わせ先:

公式ホームページ: [www.womaninblack.jp](http://www.womaninblack.jp)